

名古屋地学会は、名古屋を中心に愛知・岐阜・三重の地学現象の探究および地学教育の普及ならびにそれらを担う人材の育成を目的として活動しています。この一般向け観望会は、名古屋地学会の普及活動の一つで、愛知教育大学天文学教室と共催で開催されるものです。宇宙に関する天文ミニ講座と、愛知教育大学の60cm望遠鏡をお借りしての観望会を行います。参加は自由で、会員に限らず、どなたでも参加できます。なお、雨天の場合でも、天文ミニ講座は開催致します。
名古屋地学会ホームページ：<http://www.chigaku.com>

名古屋地学会・愛知教育大学天文学教室共催

一般向け観望会

2019年8月10日(土)

◆天文ミニ講座 (18:00~19:00)

「銀河鉄道沿線名所めぐり」

講師：愛知教育大学名誉教授・沢武文

会場：自然科学棟5階 地学538教室

この日の夏の天の川は、七夕で有名な「おりひめ星」(こと座のベガ)と「ひこ星」(わし座のアルタイル)の間を通るように、北東の空から真上のやや東よりを通して、南の地平線まで続いています。都会ではほとんど見ることはできませんが、暗い空で眺める乳白色の天の川は、見ている人の心をとてとても穏やかにしてくれます。この天の川を舞台にした有名な物語に、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」があります。この物語では、少年ジョバンニとカンパネラが、はくちょう座付近から南十字星を過ぎるところまで、天の川に沿った銀河鉄道に乗って旅することになっています。この領域の天の川の中には、散光星雲、暗黒星雲、惑星状星雲などの星雲、星の集団である散開星団と球状星団、私たちの銀河系の中心、きれいな姿の2重星など、さまざまな天体の名所が点在しています。今回は「銀河鉄道沿線名所めぐり」として、この天の川近辺にあるさまざまな天体の名所を、最新の画像などを使って紹介するとともに、それらに関連するいくつかの天文学的トピックスを解説したいと思います。

◆観望会 (19:00~20:30)

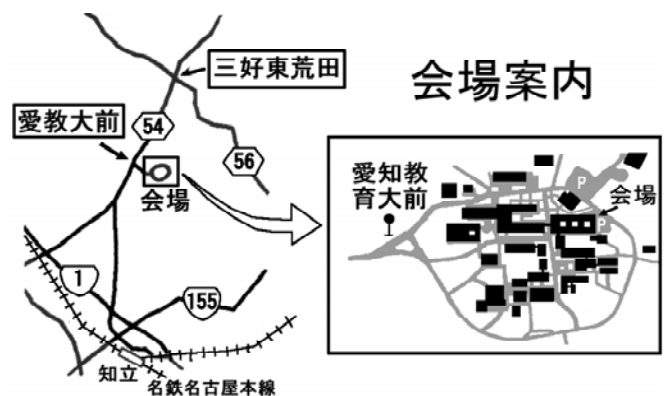
「月と木星と土星の観望会」

天体：月・木星・土星 他

この日の夕方には、南の空に半月と木星が近くに並んで見えています。また、南東の空には土星があります。この月と木星と土星を中心に、観望会を行います。月は半月ですので、欠けぎわのクレーターをはっきりと見ることができます。月のダイナミックな姿をお楽しみください。木星は2本のしま模様と、4つのガリレオ衛星を見ることができます。木星のすぐ右側にイオ、少し離れてエウロパ、左側の離れたところにガニメデとカリストがほぼ縦に並んで見えます。土星は、環がくっきりと見えます。また、環の中に黒いすじ(カッシーニの空隙)を見ることができると思います。その他、銀河鉄道の夜の中で、アルビレオの観測所のモデルとなっているオレンジ色の星と青白い星からなる二重星であるアルビレオ(はくちょう座のβ星)や、二重星がペアで見える四重星のこと座のε星などを観る予定です。



昨年の一般向け観望会の様子。講座におよそ60名、観望会全体では128名の参加がありました。



- ◎ 自家用車の場合は大学構内の駐車場をご利用ください
- ◎ かかとの高い靴や、短いスカートは避けてください。
- ◎ 会場へは学内の掲示や看板に従ってお越しください。

問い合わせ先

沢武文
TEL: 090-9891-0803
E-mail: sawa.7677@gctv.ne.jp